

令和3年度学校評価報告書

令和4年（2022年）3月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道芽室高等学校長

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- ・ 学習指導の充実により、学習に対する意欲・関心を育み、確かな学力の向上を図るとともに、自らの考えを的確に伝え他と共有する態度・能力を育成する。
- ・ 生徒理解を基盤とした生徒指導の充実により、規範意識や基本的生活習慣の定着を図るとともに、困難に負けない強い心と他を思いやる豊かな心を育成する。
- ・ 発達段階に応じた健康・安全指導の充実により、体力の向上を図るとともに、自他の健康安全を適切に守る態度を育成する。
- ・ 「部活動休養日等の完全実施」に向けて、部活動の指導・運営に係る体制を構築する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・令和4年度からスタートするBYODにも係るが、タブレット端末の有効活用を含めた授業改善について課題がある。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、生徒一人ひとりの学びの保証に尽力していた。
改善方策	・観点別学習状況の評価方法をはじめ、令和4年度に向けたシラバスやルーブリックの整備を進めていく。	
生徒指導	・コロナ禍における「新しい学校の生活様式」に対応した生徒会行事の意義について改めて検討し、生徒のより積極的な自主的活動につなげていく必要がある。	・地域と連携した教育実践をより進めて、その経験の中で自己有用感を高めていってほしい。
改善方策	・生徒会行事や部活動を通して、生徒のより積極的な自主的活動や、元気で諦めず粘り強く社会に通用する生徒の育成を継続していく。	
進路指導	・地域の物的・人的資源を有効活用することと日常の進路指導を結び付け、必要な能力の育成に努める。	・今後も地域に求められる人材育成のため、キャリア教育の充実を図ってほしい。
改善方策	・講習、模擬試験、検定等を受けるべき生徒を学年と連携しながら把握し、分掌が中心となって、連携を強化した進路指導を進めていく。	
健康安全	・スクールカウンセリングについての相談体制を充実させることができた。	・新型コロナ感染症感染拡大防止の取組をしっかり実施した教育活動を実践している。
改善方策	・地域の関係機関との連携を一層図るとともに、校内の情報交換も工夫改善していく。	
組織運営	・地域の関係機関・保護者と連携したPTA活動について、コロナ禍においてどのような活動ができるか検討していく必要がある。	・感染症予防・拡大防止の取組の中、努力されている。
改善方策	・不祥事防止のための心に響く実効性のある職場研修等の工夫改善を進める。働き方改革の観点から、時間外勤務の縮減への取り組みを一層進めていく。	
公表方法	・本校ホームページに掲載 ・学校評議員会において提示・説明	

3 添付資料

- (1) 自己評価書
- (2) 外部アンケート結果
- (3) 自己評価・「成果と課題」および「改善の方策」についての学校評議員による評価